

# 給食だより

さいたま市立 馬宮西小学校  
平成21年9月号 給食室



毎日の食生活の中で気をつけよう

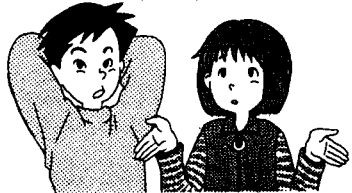
## はしの持ち方・使い方

はしの持ち方や使い方は、毎日の積み重ねが大切です。知らず知らずのうちに正しくない持ち方をしていたり、ほかの人の迷惑になるような使い方をしている場合があります。このような習慣のまま、大人になってしまうと、なかなか直りにくくなってしまいます。

この機会に正しい持ち方と、マナーに違反しない使い方をきちんと習得しましょう。



別に持ち方なんてどうだっていいじゃん  
食べられればいいんじゃない?



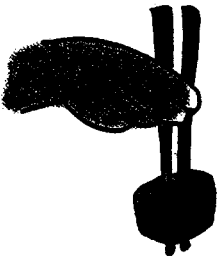
本当にそうでしょうか? 正しい持ち方や使い方が、どうして大切なのか考えてみましょう

こんな使い方していませんか?

### はしのよくない使い方

自分がこのような使い方をしている場合は、これから注意して直すようにしましょう。

① さしばし



② さぐりばし



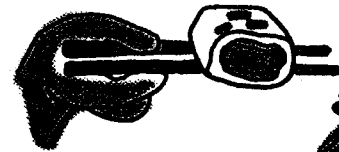
③ よせばし



④ まよいばし



⑤ よこばし



⑥ かきばし



① さしばし...料理をはしで突き刺して食べる。

② さぐりばし...料理の中にはしを入れてかき回し、好きなものをとろうとする。

③ 寄せばし...はしを食器にあてがって、自分のほうにひき寄せる。

④ 迷いばし...どれを食べようかと迷って、はしをあちらこちらに動かす。

⑤ 横ばし...はしを横にして、食べ物をすくって食べる。

⑥ かきばし...茶碗のふちに口をあてて、はしでかきこむようにして食べる。

## はし 歴史&文化Q&A

Q. 日本で使いはじめたのは?

A. 遣隋使の時代に中国(隋)に渡った小野妹子らははしとさじを使った料理で歓迎されました。当時、日本では手を使って食べる習慣でしたので、聖徳太子は中国の作法をまねて宮中で、はしを使った宴をひらくようになりました。



聖徳太子

